

## 副作用歴を考慮した支持療法の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は服薬指導時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

### 患者背景

Aさん

- ・肺がんの治療中
- ・タルセバ®（エルロチニブ）錠  
内服開始
- ・過去に他の分子標的薬による治療で  
TEN※疑いの重度の皮疹の既往あり

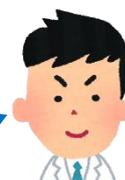


薬剤師が薬剤管理指導に訪室

患者 Aさん



新しくタルセバ®錠というおくすりが始まりますね、説明に来ました。  
（服薬指導後）  
わからないことや心配なことはありますか？



前に他の抗がん剤でひどい湿疹が出たことがあったの。今回のお薬も湿疹でようだし、それだけが心配です。

### 患者へ提案

そうだったんですね、心配になりますよね。  
皮膚が乾燥しないように対策することで軽減できるかもしれません。保湿をがんばってみましょう。



ハンドクリームは持ってきているから、こまめに塗ってみようかなあ。



### 医師へ提案

Aさんにタルセバ®錠の服薬指導にお伺いしたのですが、前回、他の分子標的薬で重度の皮疹の出現があり、今回も心配されているようです。手持ちのハンドクリームはあるようですが、予防目的に保湿剤は不要でしょうか？



医師



しっかり保湿してもらえるようにヒルドイド®ローションを処方しましょう。

皮疹は少し出ましたが、ひどくはなりませんでした。



服薬指導時に患者へ自主的に行える副作用対策を指導・提案することで副作用を軽減できたと思われる。